

# H26年度 第2回高知市地域アクションプランフォローアップ会議の概要

日時：平成27年2月10日（火）14:00～16:30

場所：県教育センター分館 中講義室

## 1 議事等

### (1) 地域アクションプランについて

#### 1) 高知市地域アクションプランの進捗状況等について

- ・重点的な取り組みを中心に平成26年度の進捗状況等を説明

#### 2) 平成27年度高知市地域アクションプラン（案）について

- ・追加1件、修正5件を含む地域アクションプラン（案）について説明
- ・案について了承された

### (2) 産業振興計画の改定等について

#### 1) 第2期産業振興計画（Ver.4）の改定のポイントについて説明

#### 2) 高知家プロモーションについて説明

#### 3) 平成27年度移住促進策のバージョンアップについて説明

#### 4) 平成27年度観光振興部の取り組みについて説明

## 【意見交換】

### <高知市地域アクションプランの進捗状況等について>

- ・新高梨の鳥獣対策は、近隣住民等の協力もあってカラスによる被害は減少しているが、増加しているハクビシンに向けた新たな対策が必要。
- ・新ショウガは27年産に向けた種芋の高騰が影響し、作付面積・生産量の維持に懸念がある。
- ・ユズは地域の生産意欲は旺盛。搾汁の作業工程の安定化や衛生管理の充実を図る。
- ・JA女性部による惣菜・弁当の製造販売は、催事の弁当の注文等も入るようになり好調。
- ・キュウリでは炭酸ガス利用や天敵栽培等の研究に取り組んでいるが、効果が期待できる炭酸ガスの施用もまだ実証経験が少なく、機器も高価。
- ・柑橘栽培では、小夏への鳥獣被害、温州ミカン栽培への温暖化の影響などがあり、新たな栽培品目の検討や、加工商品の開発が必要と感じる。
- ・林業では人材不足が一番の課題で、期待される量を切るほどの山師がいなくなっているし、その育成も短期では困難。原木単価が持ち直しているように報道されているが、伐採・搬出の条件と必要経費を考慮すると林家収入は良くない。更に土地境界が所有者でも判別できないという問題もある。  
→CLTや木質バイオマス発電など川下側で動きが出つつあるが、川上側の問題が

クリアできないと流れない。いただいた意見を踏まえて検討したい。

- ・高知市の漁業振興はまず浦戸湾の漁業の復活から考えるべきで、中でもエガニの再生。種苗生産と放流に取り組んでいるので協力願いたい。
- ・よさこいのチームで県外から「来てほしい」と言われているが、今後も高知のよさこいを発信し続けることができるかと考えると不安。高知で育った「よさこい」があって、そこから「YOSAKOI」へと波及した流れが、オリンピックのタイミングで世界に広げられるか、それがひいては今後の踊り子のやる気や誇りにつながる。

#### <平成 27 年度高知市地域アクションプラン（案）について>

- ・外国人観光客の受入態勢の充実を図るためには、免税事業の説明会とかハラルの食事関係の認知を広げるなどの取り組みを行政にお願いしたい。
- ・来高する外国人でも、欧州の人はお釜とかを買っていく一方、中国人は便利なものを買って求める。求められる物の勉強会があれば。

#### <産業振興計画の改定等について>

- ・農業のステージアップをもたらす経営体の誘致を考える際、育種関係の企業が波及効果大きい。本県の多様な気候条件に合った育苗もできる。
- ・ナスとかシトウとか県の独自品種のうち、ある程度生産量が落ちてきたものはその種に価値を付けて県外に売ること考えるべき。  
→いただいたご意見を担当部局に伝え、検討する。

- ・市場の規模が狭まって、販路開拓・外商の方向に向く以前に、足元自体が厳しく事業継続が困難になっている事業所が増えている。事業の継続、地元での事業承継に向けた支援が必要。  
→事業承継とそのための人材確保については、産振計画の改定の柱にも位置付け、重点的に取り組んでいく。

- ・県外から移住した方は定住ができていないか。また、移住される方に田畑、山林などの財産を引き受けてもらい、農業や林業の経営を引き継いでもらいたいニーズがある。  
→移住して来たものの帰られる中には、期待したものとは違ったというケースも考えられ、移住前における情報提供、お試し体験などを充実するとともに、移住後のサポートにも力を入れたい。ここでこういう農業をやってほしいとかの具体的な募集の方策も更に検討を深めていく。

- ・県外において、高知の日曜市の認知度は非常に高い。衰退することがないように。  
→街路市のあり方について、この一年、街路市活性化推進委員会で検討してきたところ。生活の拠点としての市場であることが観光客にも魅力になっており、地元の人が使う生活市としてやっていくべきということで、出店者はじめ参画の委員、事務局の市役所ともにブレはない。出店者の高齢化などの問題もあるが、より魅力ある街路市となるよう取り組んでいく。

- ・ふるさと納税をしてくれた方へのお礼は、よさこい鳴子・衣装・踊りのDVDのセ

ットとか、よさこい祭りに1泊2日で招待といったものもPRになってよいのではないか。

→高知市の場合、9割の方がお礼の品目のうち鰹のタタキを選んでいる現状。いただいたご意見を踏まえて検討する。

- ・鏡・土佐山においては、四方竹もユズも鳥獣被害の現状はもう限界。産業振興計画・地域アクションプランの評価は机上のものにならないよう、現地の実情の把握を求める。

●お問い合わせ先

高知県産業振興推進部計画推進課（地域産業担当）

電 話 088-823-9334

FAX 088-823-9255

メール 120801@ken.pref.kochi.lg.jp